

貧困研究会

第31回定例研究会 のおしらせ

金融排除の実態調査報告

「貧困研究会」（日本学術会議協力学術研究団体）は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行い、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行うことを目的として、2007年12月に設立した学会です。

代表 布川 日佐史（法政大学）

副代表 五石 敬路（大阪市立大学）

第31回定例研究会では、科学研究費基盤研究(C)「金融包摂による生活困窮からの脱却可能性」（研究代表者・小関隆志）の調査結果を報告します。

日本において金融排除・金融包摂という概念はあまり浸透しておらず、日本の金融排除の実態は必ずしも明らかになっておりません。本研究は、金融排除が日本においてどのような形で存在し、生活困窮者の生活に影響を及ぼしているのかを解明するため、2016年秋から約2年間にわたり、東京・京都などでファイナンシャル・ダイアリー調査やインタビュー調査を行いました。両調査の結果を中心に報告する予定です。

今回の調査結果を、金融包摂を今後どう進めるべきか考えるヒントにするため、ご関心のある方々と活発な意見交換をしたいと思います。

皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2018年11月25日（日）

13:00～17:00（受付開始12:30～）

報告者 小関隆志（明治大学） 佐藤順子（佛教大学）
角崎洋平（日本福祉大学） 野田博也（愛知県立大学）

コメンテーター 鳥山まどか（北海道大学） 小林立明（学習院大学）

会場 明治大学駿河台キャンパス

研究棟2階 第9会議室

東京都千代田区神田駿河台1-1（JR御茶ノ水駅から徒歩約5分）

※非会員の方も参加できます。

参加費無料・事前の参加連絡は不要

貧困研究会

E-mail: admin@hinkonken.org HP: <http://hinkonken.org/>